

琉球大学学術リポジトリ

牛の年齢のかん定法

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 古謝, 瑞幸, Koja, Zuiko メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/19651

に二、一粒の歯が出来ることがあります。

品 種

有畜品種を三紹介します。

- (一) たねなし旭大和 草勢強健で着床も容易であり果数も多い。併し栽培を誤ると小果になりやすいので注意して下さい。一果重は一貫五〇〇〜一貫五〇〇匁、果皮はうすく肉色、肉質良好で甘味も高い。
- (二) たねなし旭都 草勢が極めて強いので初期の肥培管理を誤ると蔓はけし易い、果皮は十五〜十六条の青海色の条斑があり、果皮がうすく、肉色は濃紅色を呈し、肉質もよい。

(三) たねなし富研 緑皮大果の組合せて栽培は容易である。多収で前者には劣るが肉質もよい。

おわりに

雑種強勢をよく顕現し又普通西瓜とは別の特性をもつので肥培管理を誤らぬように注意せねばならぬ。初期生育が劣るから育苗に手間とりますから育苗管理を充分行つて下さい。蔓が一尺程伸びるとその後の実育旺盛です。花粉が不稔のため授粉樹を必要とする等の特性がありますのでその特性を充分考慮して栽培管理をして下さい。

(宮 城 滋)



牛の年令のかん定法

牛の年令を知ると云う事は、特に繁殖、繁殖、売買上重要なことである。日本や諸外国みたいに登録制度があればその帳簿によつて簡単に年令が解るがさもない限り歯を見て知る他はない。然しこの人は外観を見て大体は解ると云う。又経産牛ならば角輪(角の根にある)を見て、それに3を加えればその中の年令となるのでこれは簡単な方法である。普通一般的にしかも正確に知るには歯による方法である。即ち、下あごの切歯(門歯)とその歯肉の摩滅状況による判断である。牛の歯(歯の生えたる状態)は4.0.3.3.3(十才50歳)となつてゐる。先づ歯の着生、脱落状況を図で示すと次の通りである。かように切歯は中央のかん歯から漸次側のものと着生していく、したがつて切歯が全部乳歯で残つておれば一才、中央のかん歯が双方落ちておれば三才、内中間歯も双方落ちておれば四才、外中間歯も落ちておれば五才、切歯が全

歯 種 類	着 生	落 脱
切歯	かん歯	生前(乳歯)
	内中間歯	生前(乳歯)
	外 切歯	生后2週(乳歯)
	隅 歯	生后3週(乳歯)
白歯	第一白歯	生前(乳歯)
	第二切歯	生前(乳歯)
	第三切歯	生前(乳歯)
	第四切歯	生后6-9月(永久歯)
	第五切歯	生后30月頃(ク)
	第六切歯	ク48-60月頃(ク)
		生后18-24月(3才)
		30(4才)
		42(5才)
		54(6才)
		30-42月頃



- 1. 鉗歯
- 2. 内中間歯
- 3. 外中間歯
- 4. 隅歯
- I ~ VII. 白歯

牛の歯列

部落ちておれば六才と言う事になる。なお乳歯と永久歯との相違は一般に後者が大きく、幅広くして区別が付き易い。

(古 謝 瑞 幸)

あとがき

先月末、久米島の具志川村と仲里村において本学部主催による病害虫展示会並びにミソの作り方の講習会を開きましたが、両方とも盛況で特に展示会は老若男女、高校、中校、小校生など多数参加、所期の目的を果すことが出来ました。

御協力下さった関係者及び一般有志の方々に厚くお礼申し上げます。開催御希望の町村は其旨お知らせ下さい。出来るだけ御申込みに応じたいと存じます。

発行所 琉球大学農家政学部
 発行人 島 袋 俊 一
 印刷所 沖繩タイムス社